



問 小中学校の防災防犯体制の取り組みは 答 地域ぐるみの安全体制を整えます

藤沼 喜義 議員

問 各地で集団登校時に大きな事故が発生している。通学路等の安全対策はどうか。

教育長 通学路の再点検を行うとともに、自転車マナー、交通ルール等に対する意識を高める指導を進めています。

教育次長 立哨指導、交通安全集会、警察官による交通安全指導の実施、また実践的な自転車通学の指導さらに自転車の点検等も行っています。

問 通学路の整備は。
教育次長 不備の見られるところは、建設環境課と協議しながら安全確保を進めてまいります。

問 校内防犯カメラの運用実績と効果は。

教育次長 各学校に各4台のカメラが設置され、カラーで約27日間録画できます。死角が生じますが、人的な対応でカバーしています。学校への不審者の侵入や自転車のいたずら等も少なくなりました。

問 変質者等への対応は。
教育次長 今年3月6日に女子中学生への露出行為がありました。警察への依頼や、防犯パトロールの実施を強化しています。警察等からの情報は各学校にファックスで逐一連絡しています。

問 大地震や風水害等自然災害に対する学校での対応は。
教育次長 学校側では最終的に保護者に安全に引き渡しができるように徹底化を図っています。災害に対する即対応は学校長の判断によりますが、気象情報等十分確認し、教育委員会と密に連絡を取り合いながら安全確保に努めています。

問 総括して防災防犯への取り組みは。
町長 第5次総合計画の中に、対策が盛り込まれています。通学路の整備は早急に取り組みます。また、職員を含めた防犯パトロールの強化や地域ぐるみの防犯活動が子どもたちを守ることになる

とを考えます。

問 市街化編入の目処はいつか 答 平成25年3月の予定で調整

ど、編入に伴う必要な調整を今年度末に向けて進めている状況です。

問 IC周辺地域の市街化区域編入の目処は。
町長 現在、関東農政局との協議を進めています。平成25年3月に県の都市計画審議会での議決、さらに告示手続きを経て編入される予定で調整しています。

副町長 このIC周辺開発は五霞町振興の最重要事業であると同時に、茨城県にとって今後地域開発を進めて行く上で重要な意味を持っています。

皆様のご理解ご協力をお願いします。
建設環境課長 特にA区域における土地改良事業の補助金の取り扱い等の協議を進めています。また、新4号国道と県道との交差点、用途地域の設定、事業手法のあり方など、編入に伴う必要な調整を今年度末に向けて進めている状況です。

問 進出企業の見込みと公募の方法は。
町長 今年度予定しています。基本設計及び実施計画の策定を進める中で公募条件を整理し、実績のある地元企業や古河市に移転される日野自動車関連企業などに打診を図ります。以前、進出意向のありました大型商業施設についてその後進展はなく、あくまで公募の中で進めて行く予定です。

個別訪問等で行います。

問 地権者との協議は。

建設環境課長 先般の役員会議で、①国・県等との調整経過について②市街化編入のスケジュール説明③意向調査での地権者のニーズ④測量、埋蔵文化財調査への協力依頼などを説明しました。

さらには全体地権者への説明会を近々開催する予定です。

問 圏央道の供用開始に合わせての対応は。

建設環境課長 国土交通省の見解では、平成25年度以降になるとのことで、五霞町としては先行して市街化編入を行い、その後開発許可、造成工事、企業立地等事業完成までの全体工程について、実施計画の策定を進めていきます。